

## 第6学年1組 特別の教科 道徳 学習指導案

- 1 主題 友達とは (B-友情、信頼)  
 題材 コスモスの花 (本時1 / 1)
- 2 本時のねらい  
 互いを尊重し合う友達関係を築くためにはどうしたらよいか考えをまとめることができる。
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	1 教師の範読を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業では、題材を通してよりよい友達関係を築くために大切なことを考えることを伝える。</li> </ul>
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           玉木くん(ぼく)と北山くんは、本当の友達だといえるか            全員が、上記の話題について3人以上と話し合い、            振り返りの時間に、よりよい友達関係を築くには何が大切か自分の答えを見つけられる         </div>	
展開 (30)	3 課題を達成するために相談しながら追究する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉木くんは、北山くんが注目されたことが気に入らなかった。本当の友達ならいつでも相手のことを思って行動するんじゃないかな。</li> <li>・玉木くんは「やめろよー」と言って北山くんを守ろうとした。友達が困っているときに力になろうと行動できるのは、本当の友達だからだ。</li> <li>・北山くんが注目されたときのぼくのような態度では、よい友達関係とはいえない。対等な存在として接することが大切だと思う。</li> <li>・ぼくにはぼくのよさ、北山くんには北山くんのよさがある。お互いのよさを認め合えることが、よい友達関係を築くために大切だと思う。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と意見を交わし合う中で、ワークシートのメモ欄を活用して考えを整理する児童を称賛する。</li> <li>・<u>めあてを達成するために、進んで友達に声を掛けたり、ワークシートを読み合ったりしている児童を称賛する。</u></li> <li>・題材の内容だけでなく、自分の体験からも考えている児童を称賛する。</li> <li>・友達であっても嫉妬してしまうという人間理解について児童の考えを発展させるために、P114 L10「北山なんてー」に注目するよう声掛けを行う。</li> <li>・<u>本時の活動を振り返り、大切にしていきたいことについての考えを書く。</u></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【評価規準】</b></p> <p>本時の学習課題を達成することができる。</p> </div>
整理 (10)	4 課題を達成する。 全員が(1 本時の目標)を達成できる。  5 本時のリフレクションを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             よりよい友達関係を築くためには、互いのよさを認め合えることが大切だと考えたよ。           </div>	